

ひきこもり支援について

1 主旨

令和3年3月に策定した「世田谷区ひきこもり支援に係る基本方針」に基づき、令和4年4月5日に年齢を問わず、ひきこもり当事者やその家族を支援する世田谷ひきこもり相談窓口「リンク」を開設する。生活困窮者支援の「ぷらっとホーム世田谷」と若者支援の「メルクマールせたがや」が互いの強みを生かしながら「リンク」を運営し、関係機関と連携しながら伴走的な支援体制を構築する。

また相談窓口開設後の主な課題に対する今後の取組みについて検討状況を報告する。

2 世田谷ひきこもり相談窓口「リンク」

(1) 愛称「リンク」

ひきこもり当事者の方やその家族が、支援機関と安心してつながることができ、また支援機関相互の結びつきや地域の絆によって、誰もが安心して住み続けられる社会となるよう、つながりや絆の意味を持つ英単語から名付けた。

(2) 開設日時

令和4年4月5日(火)

月～金曜 午前9時～午後5時

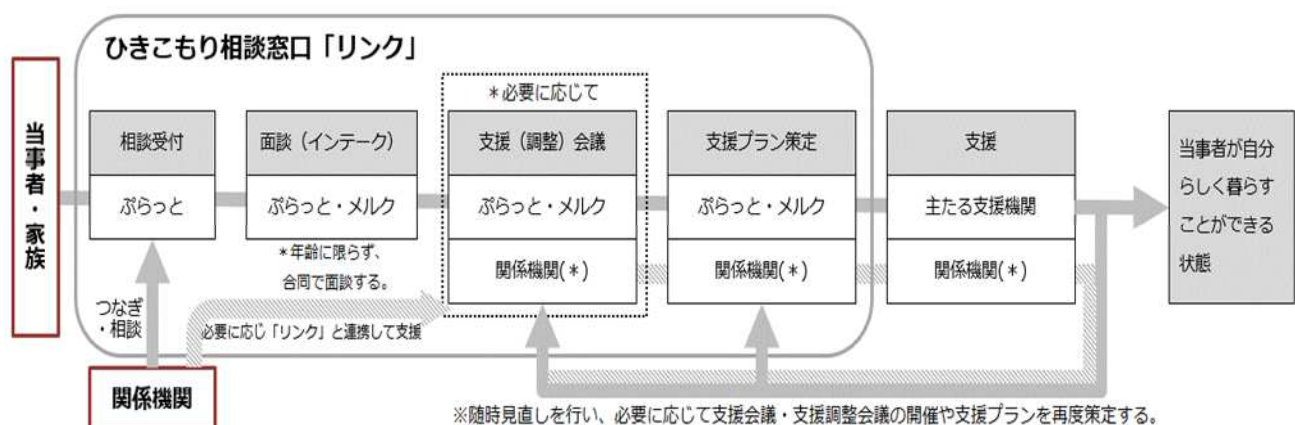
(3) 開設場所

世田谷区太子堂4-3-1STKハイツ3階(ぷらっとホーム世田谷内)

(4) 周知方法

区のおしらせ(3月15日号)1面掲載、ホームページ掲載

(5) 支援の流れ



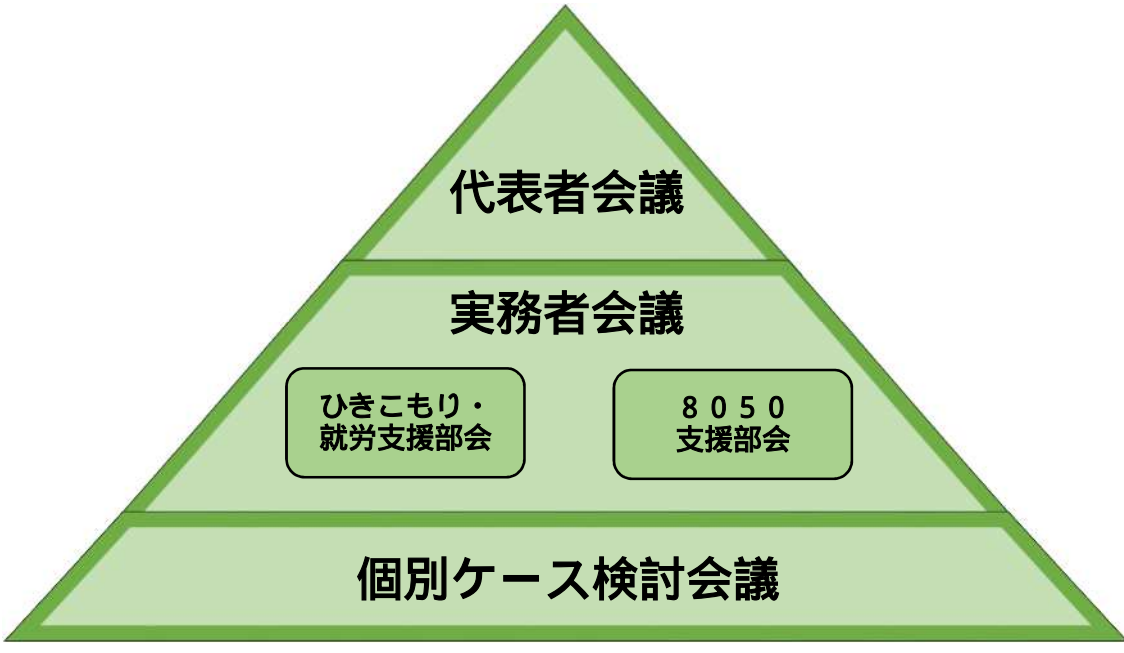
3 今後の取組みについて

令和3年11月に開催された第5回全区版地域ケア会議（第80回地域保健福祉審議会）で、8050問題（ひきこもり）に関して挙げられた相談窓口開設後の主な課題について、今後の取組みの検討状況を報告する。

（1）相談窓口設置の効果検証

課 題	相談窓口をつくるだけでなく、機能させていく必要がある
検討状況	令和4年度に「重層的支援協議会」(下記参照)を設置する。「重層的支援協議会」で、ひきこもり相談窓口設置の効果検証を含め、ひきこもり支援の在り方や連携体制等を検討する。

* 重層的支援協議会

対 象	ひきこもり等の複雑化・複合化した問題を抱える方
目 的	関係機関等の支援を適切に組み合わせることにより、その効果的かつ円滑な実施を図ること
構 成	 <p style="text-align: center;"> 代表者会議 実務者会議 ひきこもり・就労支援部会 8050支援部会 個別ケース検討会議 </p> <p> * 代表者会議は子ども若者支援協議会の代表者会議と同時開催 * 実務者会議の「ひきこもり・就労支援部会」は子ども若者支援協議会の実務者会議から移管 * 「8050支援部会」は新設 </p>

(2) アウトリーチ

課 題	早期に潜在的ひきこもりを見つけて支援できるか。丁寧に地域に入り、その世帯と関係をつくりながら支援につなげることが大切である。
検討状況	<ul style="list-style-type: none"> ・メルクマールせたがやが実施してきた出張相談会の回数を増やし、合わせてひきこもり相談窓口による出張相談の場としても活用する。 ・メルクマールせたがや、ぷらっとホーム世田谷が実施している家庭への訪問相談も連携して実施する。 ・挙げられたとおり、潜在的ひきこもりをいかに把握し、支援につなげていくかが、ひきこもり支援において非常に重要な課題であると捉えており、ひきこもり相談窓口だけでなく、地域を含めた当事者や家族との関係づくりが必要と考えている。ただしアウトリーチの実施にあたっては、それぞれがひきこもりを理解し、当事者の意思を尊重した対応が必要であることから、次年度において慎重に検討する。

(3) 教育との連携

課 題	不登校への対策等、早期発見、早期支援が重要であり、教育との連携が必要である。
検討状況	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校支援の強化を掲げる教育総合センターと連携し、早期に支援につながり、また卒業後にも切れ目のない支援ができるような情報共有の仕組みづくりを検討している。 ・保護者に向けた支援としては、「不登校保護者のつどい」でひきこもり相談窓口の周知や事例紹介を行うと共に、ひきこもり経験者や家族にもピアサポーターとして参加していただき、保護者に対してひきこもりへの理解を促すことを検討している。

(4) 医療との連携

課 題	様々な角度から取り組む必要があり、医療連携推進協議会等との連携が必要である。
検討状況	<ul style="list-style-type: none"> ・3月3日の医療連携推進協議会でひきこもり相談窓口開設について周知した。今後も連携を図っていきたいと考えている。 ・重層的支援協議会の構成員には医療機関の関係者もいらっしゃることから、重層的支援協議会でご意見を伺いながらひきこもり支援の在り方を検討する。

(5) 事例収集・分析

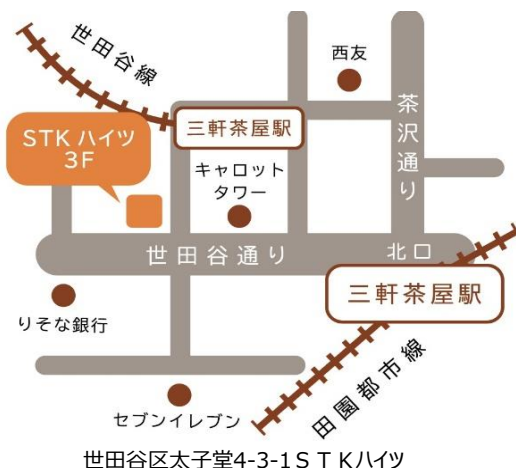
課 題	8050問題の事例を分析し、予防につながる関係機関を増やす必要がある。
検討状況	保健福祉政策部において、ひきこもり相談窓口等から8050問題の事例を収集し、分析を行う。分析結果については、重層的支援協議会(8050支援部会)へフィードバックし、関係機関との連携体制を検討する。

世田谷ひきこもり相談窓口「リンク」

令和4年4月5日(火)開設

年齢を問わず、ひきこもり当事者の方や家族を支援する相談窓口「リンク」を開設します。
誰もが自分らしく暮らすことができるようサポートします。
また、関係機関相互の連携強化および協働を進めます。

5階	世田谷若者 総合支援 センター	メルクマールせたがや (若者の悩み相談)
4階		せたがや若者サポートステーション (働くことやその準備についての悩み相談)
3階	ぷらっとホーム世田谷	
2階	ひきこもり相談窓口「リンク」 開設日時/月～金(祝・休日、年末年始を除く) 午前9時～午後5時 ☎5431-5354 FAX5431-5357	
1階	図書館カウンター三軒茶屋	



ぷらっとホーム世田谷

仕事・お金・ココロとカラダのことなど、身の回りの
様々な困りごとと一緒に整理し、関係機関と連携し
ながら一緒に解決策を見つけます。

対象：区内在住でお困りごとを抱えている方
(ご家族などでも可)

メルクマールせたがや

公認心理師等の専門スタッフが寄り添いながら、一
人ひとりが望む社会参加に向け相談や訪問、居場
所活動、家族会等を行っています。

対象：不登校・ひきこもり等生きづらさを抱えた
下記①②の方とご家族
①区内在住12～39歳の方
②区内在住40歳以上のひきこもり当事者
※②は「リンク」で受付

相談窓口支援フロー

